

日本共産党が 論戦で追及 自公民も反対にまわる

川崎市議会(6・7月議会)に福田市長は、市長特別秘書を設置する条例と補正予算を提案。年収1100万円、1年ごとに退職金100万円の秘書を2人まで設置できる案です。

市長は「私を補佐するスタッフ職の設置が不可欠」と述べましたが、すでに川崎市には副市長が3人います。「副市長にできない職務とは」との質問に市長は答えられず、また「特別秘書が『公務』から逸脱したかどうかの判断は」との質問に、市長は「私が責任をもって業務を常に把握

年収1100万円、^{1年ごとに}退職金100万円

職務内容は不明 2人まで可能

市長特別秘書 否決

設置条例を

福田市長提案

し、遂行状況も逐次報告を受けるなど管理をしっかりと行っていく」と答弁。これでは特別秘書の職務の実態は市長しか把握できず、市民がチェックすることはできません。

採決で条例案は共産・自民・公明・民主が反対して否決。市長提案の条例案が否決されたのは41年ぶりです。



税金ムダづかいストップに全力でがんばります

市民生活に必要ない

巨大な橋をつぎつぎ建設推進

「財政が
きびしい」という
福田市長が

臨港道路東扇島水江町線 540億円

東扇島と水江町—2つの埋立地をつなぐ市内最大級の巨大な橋をつくる計画(総事業費540億円)は整備する理由がコロコロ変わり、それも次つぎ破たん。必要性をまともに説明できないまま建設着手。



完成予想図(国土交通省資料より)

2020年東京 オリンピックめざし 羽田連絡道路 400億円

川崎区殿町地区と羽田空港側を結ぶ橋=羽田連絡道路の整備計画(見込額400億円)も、市民生活にとっての必要性を説明できないまま福田市長が推進。市議会で日本共産党は「3つの理由」から中止を主張しました。

中止すべき3つの理由

1 市民生活にとっての必要性を 市長も市当局も説明できず

都内を主な競技会場とする2020年東京オリンピックまでの完成をめざす理由を説明できない/川崎側から羽田空港までのアクセス短縮は6分だけ。近くに大師橋がある/殿町地区「国家戦略特区に国内外から医療従事者が年間1万人来訪」と説明するが、1日あたり約27人のためにつくる必要があるのか。

2 殿町地区の住環境と 貴重な自然環境を破壊する

羽田側から川崎側に新たな自動車公害と事故の危険性を呼び込む道路になる/貴重な生態系が残る首都圏最大の多摩川河口干潟を破壊する計画に、野鳥の会など自然保護団体が反対の意見書提出。

3 大規模公共事業の同時進行が 市財政を圧迫▶市民にしわよせ

羽田連絡道路予定地のすぐ海側には並行して数千億円規模の「国道357号線多摩川トンネル」整備が近々着手、必要性を説明できない「臨港道路東扇島水江町線」整備も着手、「船の来ない港」と呼ばれる川崎港コンテナターミナルなど「国際戦略港湾」開発にも数百億円かける計画など、臨海部の大開発が目白押し。

予算は 福祉・くらし優先に

こんな大規模開発を同時に進めれば、ばく大な税金投入とともに、債務(市の借金)の返済が市財政を圧迫し、それを理由に福祉と市民サービス切り捨ての悪循環がくり返されます。日本共産党はこれらの不要不急の事業を中止し、子育て・福祉・くらしに予算をまわすよう強く求めています。

国民のプライバシーが危険に
マイナンバー制度 利用開始は中止に

2016年1月開始予定の「マイナンバー制度」個人の所得やどれくらい医療にかかったかなども国が把握し、税金の徴収強化、社会保障の給付抑制をねらうもの。ひとたび個人情報流出すれば大変な被害となる欠陥制度です。利用開始を中止するよう求めました。

憲法違反、戦争する国!
戦争法案は廃案しかない

日本が攻撃を受けなくても世界のどこへでも自衛隊を派兵し、憲法で禁じられてきた集団的自衛権行使と武力行使を可能にする戦争法案について市長の見解をただしました。憲法学者らの「法案は違憲」との声と国民的怒りが広がり、「廃案に」今国会で通すな「慎重審議を」との世論が8割以上に。採決強行は許せません。きつぱり廃案にすべきです。



一人ひとりにゆきとどく教育環境へ 中学校でも少人数学級を

子どもたち一人ひとりに目がゆきとどき、学力向上や生活指導、不登校の減少など教育効果が実証されている少人数学級。川崎市は国の制度・予算措置の枠内で、全校での35人以下学級は小学1・2年生まで(県の加配を活用して小学3年生以上も一部で実施)。他都市では独自の拡充が広がっています(右表)。中学校で毎年千人以上いる不登校(出現率は政令市ワースト3位)を減らすためにも、日本共産党は、川崎市独自で小学3年生以上と中学校も35人以下学級にするよう求めています。

小学1・2年生の35人以下学級(国の制度・予算措置)に加え、このように独自で拡充～政令市の状況(県の基準含む)

札幌市	中学1年は35人以下
仙台市	中学1年は35人以下
千葉市	小学3年～6年と中学2～3年は38人以下、中学1年は35人以下
新潟市	小学1・2年は32人以下、小学3年～中学3年まで35人以下
静岡市	小学3年～中学3年まで35人以下
浜松市	小学1・2年は30人以下、小学3年～中学3年まで35人以下
名古屋市	小学1・2年は30人以下、中学1年は35人以下
京都市	中学3年は30人以下
神戸市	小学3・4年は35人以下
広島市	小学3年～中学1年まで35人以下
北九州市	小学3・4年と中学1・3年は35人以下
福岡市	小学3・4年と中学1年は35人以下
熊本市	小学3・4年と中学1年は35人以下
川崎市など7政令市は…独自の拡充なし	

※その他の学年は40人以下学級。
2015年度、川崎市議会事務局調査課の調査資料より作成

中学生まで医療費無料化 所得制限の撤廃を

県内33市町村の中で通院助成対象が小学2年生までの川崎市は県内最低。所得制限で約1万9千人(対象年齢の16%)が助成を受けられません。中学校卒業まで無料化を拡大し、所得制限を撤廃するよう求めました。

「隠れ待機児童」ワースト1位 認可保育園の増設を

入所申請者のうち、自宅で求職活動中、認定保育園や一時保育対応、産休・育休中などを待機児童にカウントせず、川崎市が「待機児ゼロ」と発表したカラクリを告発し、認可保育園の増設を要求。共同通信の全国98市区町村調査で川崎市は「隠れ待機児童」が1695人で最多(東京新聞7月12日付)。

中学校給食でエレベーターの 活用と、未設置校舎への設置を

中学校給食の実施に際しては、短い給食時間内に食缶などを安全に各教室に運ぶには配膳員がエレベーターで各階まで運ぶよう提案。既存エレベーターの活用と、未設置の校舎には給食実施までに整備するよう求めました。



20%プレミアム商品券 使いやすく改善を

1万円で購入した商品券で1万2千円分の買い物ができるプレミアム商品券を川崎市は27万5千冊発行します。商品の仕入れに現金が必要な商店・業者にとっては換金(商品券の現金化)に30日間、最長49日かかるのは死活問題。換金の期日短縮を求めました。

中小企業振興条例 制定に向けて

市が制定をめざす「中小企業振興条例」を実効性あるものにするため、検討段階から市内中小零細企業の実態調査と、業種ごとの代表者による協議の場を設置するよう求めました。

市民要求実現へ〈一丸となって奮闘〉



川崎市 佐野よしあき 議員

●生活保護世帯の子どもの就学支援●地域教育会議の取り組み支援、教職員の過重負担問題●石油コンビナート護岸の耐震化●医療ツーリズムと地域医療への影響



川崎市 片柳すすむ 議員

●川崎市小田一丁目・三の辻交差点の電柱移設●ブラック企業・ブラックバイト問題●町内会・自治会館整備の補助制度●川崎市の県有地を活用した特養ホーム整備



幸区 渡辺 学 議員

●日吉健康ステーション業務の区役所への一元化●新川崎駅前タクシー乗り入れ●南河原公園の噴水、カナルの水質管理●川崎駅西口公営駐輪場●ラゾーナの交通渋滞

日本共産党 川崎市議団 全員が質問しました

6・7月議会での一般質問のテーマを紹介します

写真は本会議場で質問する各議員



中原区 市古てるみ 議員

●介護予防・日常生活支援総合事業、報酬単価引き下げ問題、サービス利用手続き●幹線道路での専用道など自転車走行環境整備●教職員の多忙化実態調査と改善策



中原区 おおば裕子 議員

●下小田中小学校の校舎増築、体育館建て替え●西中原中学校のエレベータ増設●中原区の保育園整備●バス路線と交通不便地域の解消●宮内新横浜線と等々力大橋



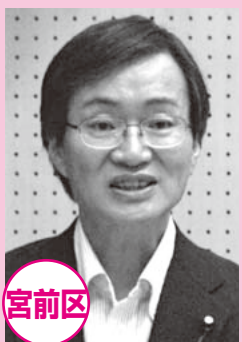
高津区 石田 和子 議員

●障がい者相談支援センターの専門職の増員●学校のトイレ改修、印刷機・コピー機の増設など教育環境改善●津田山駅の橋上駅舎化●大山街道片町踏切の安全対策



高津区 むねた裕之 議員

●旧西部公園事務所を市民が気軽に使える施設として有効利用を●高津区野川の宅地開発問題で崖地の緊急防災対策を●不妊治療費への市独自の助成制度を



宮前区 石川けんじ 議員

●宮前区役所のアクセス改善、コミュニティ交通●わくわくプラザ条例、学童保育支援●住宅リフォーム条例●建築・開発行為に関する総合調整条例の運用見直し



多摩区 齊藤たかし 議員

●登戸土地区画整理事業の推進●街路灯LED化、川崎プレミアム商品券事業など商店街支援●横浜生田線の整備●五反田川放水路整備事業と稲田多摩川公園の整備



多摩区 井口 まみ 議員

●多摩市民館の出張講座、生田出張所での開催●植木や街路樹のせん定枝のリサイクル●障がい者ショートステイ施設の整備●川崎の公害の歴史の継承



麻生区 かつまたみつえ 議員

●小中学校の特別教室へのエアコン設置、トイレ改修、給食調理室など教育環境改善●都市計画道路の事業計画、栗木駅周辺の交通対策●斜面地開発の安全対策